

キイブとは俺のことかとキエフ言い

2022/03/01



ニューヨーク共同によりますと「米ニューヨークのカーネギーホールは25日から予定していたコンサートで人気指揮者のワレリー・ゲルギエフ氏が降板、別の指揮者に交代すると24日発表した。米メディアによると、同氏はプーチン・ロシア大統領の支持者として知られ、ロシアのウクライナ侵攻が降板理由とみられる」とのことです。また、「ロンドンのロイヤル・オペラ・ハウス (Royal Opera House) が夏に予定されているロシア・ボリショイ劇場バレエ団のロンドン公演をキャンセルすると発表した。ロシアのウクライナに対する武力侵攻を受けて。劇場側は『残念ながら、現在の状況では、今シーズンを進めることはできません』というコメントを発表している」。

これでは私も、好きな「ウオツカ」(「ウォッカ」ではありません)も飲めず、好きなロシア料理のビーフストロガノフやピロシキやボルシチーいえ、ボルシチは元々ウクライナ料理でしたから大丈夫です。

また、ウクライナの首都キエフの都市名については、ジャーナリストの小林

恭子さんの次のような報告があります。

ウクライナの首都キエフの英語表記が「Kiev」ではなく「Kyiv」になっている。Kiev はロシア語発音に基づいた表記であり、後者はウクライナ現地の発音に基づいた表記だという。BBCの記者などによる発音をカタカナで表記すると、Kiev は「キエフ」(kee-yev)で、Kyiv は「キイブ」(kee-yiv)。英語による報道で、ウクライナの首都から報道する記者たちが「Kyiv」という言葉を使い、テロップにもこの文字が流れるとき『私たちはロシア流では地名を読みません』という意味表示なのではないでしょうか。BBCニュースの日本語記事では「Kyiv」を「キーウ」と表記。

1991年、ソビエト連邦の崩壊に伴いウクライナが新国家として生まれた。首都「Київ」の英語表記を「Kiev」から「Kyiv」に変えることが正式に認められたのは1995年だった。西欧型の民主政治への志向が高まる中、2018年のウクライナ外務省による「Kyiv Not Kiev」(KievではなくKyiv)運動が広がっていく。この運動の背後には、ウクライナから旧ソ連やロシアのイメージをなくしたいという思いがあったという。この結果、ロイター通信、CNN、BBCなどが「Kyiv」を使うようになっていった。

一方の「Kiev」は、ロシア・プーチン大統領の「ウクライナはロシアの領土だ」という主張に合法性を与えてしまうという。米公共ラジオ局NPRの記事によれば、キエフを「Kyiv」(KEE-eev)と表記・発音するようにという内部規則を定めており、リスナーに対して、ロシア語の発音を基にした表記・読みを使っていないことを時折知らせるべきだという(2月25日)。ちなみに、日本語では、「ウクライナの地名のカタカナ表記に関する有識者会議」が「首都名について、キーウ、キイフ、キエフの3例の併用を可とする」と決めている。

音楽でも、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」の終曲は「キエフの大門」です。キエフを舞台とした名作オペラも数々ありますが、いまは思い出すだけに、つらいものがあります。

ツツキノヴィッチ・マサミーチン